

主要行事日程表

■ キャビネット会議 ※臨時キャビネット会議は行わない運びとなりました。

第3回	2010年 3月15日(月)	会 議	14:00 -17:00	AP西新宿
		※	キャビネット構成員	
第4回	2010年 6月14日(月)	会 議	15:00 -17:00	東京プリンスホテル
		懇親会	17:00 -18:30	
		※	元ガバナー・キャビネット構成員・委員会副委員長・委員・複合地区役員	

■ 年次大会

330-A地区 (第56回)	2010年 4月24日(土)	東京プリンスホテル
330複合地区(第56回)	2010年 5月15日(土)	東京プリンスホテル

■ 国際大会

第93回	2010年 6月28日(月) ~ 7月 2日(金)	オーストラリア・シドニー
第94回	2011年 7月 4日(月) ~ 7月 8日(金)	ワシントン州・シアトル

■ OSEALフォーラム

第49回	2010年11月18日(木)~11月21日(日)	開催地区 MD300	台湾・高雄
第50回	2011年(詳細日程未定)	開催地区 MD301	フィリピン

■ 330-A地区 第56回 年次大会の登録ご案内

一般登録締切	2010年 3月31日(水) ※ 各クラブ出席者をとりまとめて、サバンナにて出席登録して下さい。		
登 録 料	代議員登録料	10.000円	一般登録料 5.000円
	家族会員登録料(家族会員2人目以降)	2.500円	感謝の集い登録料 10.000円
登録変更期限	代議員は3月5日(金)、一般会員は3月31日(水)までにサバンナ内にて修正して下さい。 締切日以降、サバンナの操作は出来ませんのでご注意願います。		



表紙作者 南 正文 (大阪府/1951年生まれ) 作品名 「梅花」

事故は家業の製材所で起きた。8歳の彼の両腕をベルトが巻き取り「九分九厘助からない」といわれたが生き延びた。口や足、肩を手の代わりに何とか毎日の生活をこなしていた少年の彼に、絵を描けと教えたのは京都の恩師、無手の大石順教だった。14歳の時だ。足でも肩でもなく口で描けと命じた。鉛筆を噛んで、スケッチから勉強が始まった。口中で鉛筆はつぶれ続け、3週間後に初めての絵が仕上がった。長じて、絵は天職になった。画業に自分の歴史を作り、立ちほだかる壁を一つずつ越えてきた。仲間、家庭、社会の人々と大切なものがいっぱいある人生だ。

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区
地区ニュース 2号
発行日 2010年1月25日
発行 広報委員会

広報委員会
委員長 近藤 正彦 委 員 矢田部 満
副委員長 柴田 誠 奥山 慎
佐原 幸雄 荻野 桂一
委 員 鈴木 郁朗 太田 正利
高尾 省吾 茅島 純一
山本 康弘

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区 キャビネット事務局
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-10-17
新宿ダイカンプラザ B館 2F
TEL 03-5330-3330 FAX 03-5330-3370
E-mail cab@lions330-a.org



DISTRICT 330-A LIONS CLUBS INTERNATIONAL

<http://www.lions330-a.org/>

The Lions News

2010 New Year



表紙画協力：口と足で描く芸術家協会

Contents

第48回OSEAL(東洋・東南アジア・ライオンズ)フォーラム・山浦国際理事候補者インタビュー
環境委員会委員長インタビュー・各クラブのアクティビティ紹介・eMMR、他

特集 岡野ガバナークラブ訪問レポート

新年明けましておめでとうございます。

ライオンズクラブ国際協会330-A地区全メンバーの皆さまに、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年の7月10日、ミネアポリス国際大会にてガバナーに就任させて頂き、早、半年が経過いたしました。

今期、私のガバナーとしての使命は、各クラブの個別訪問と決意し、12月末までに128クラブの皆さまにお会いする時間を頂くことができました。

訪問の目的は「原点回帰」「立ち止りの一年」の真意をご説明させて頂くことで、各クラブの皆さまに「ご自身のクラブの過去の振り返り」と「クラブの未来図」を作って頂くようにお願いしております。

クラブの総意で未来図ができれば、今期ガバナーズ・テーマ「大切な友達を仲間にしよう」ガバナーズ・スローガン「仲間意識で元気なクラブをつくろう」が可能になってまいります。

訪問させて頂いた各クラブでは、メンバーの皆さまからの貴重な体験談をお聞かせ頂いたり、素晴らしいアクティビティ活動を一緒に体験するなど、言葉では言い尽くせない貴重な経験をさせて頂いております。

皆さまからの様々な形でのご厚情、ご協力に心より感謝申し上げますと共に、改めて、人と人とのご縁を感じ、私たちの活動の

基本は、やはり心と心の繋がりであり、メンバー同士に流れる心の絆、奉仕させて頂く皆さまとの互いへの感謝の絆であり、お互いに認め合い、信頼しあうありますが、ライオンズクラブの「We Serve」に深く根ざした精神だと感じております。

これからも72クラブの訪問を、皆さまのご協力を頼みに達成したいと思っておりますが、この貴重な体験をキャビネットの運営や各クラブの活性に寄与出来る様、精進させて頂きます。



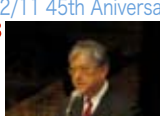
結びにあたり、メンバーの皆さまのご健勝と、ご家族のご健康を心より祈念致しまして、御挨拶とさせて頂きます。
明日のライオンズクラブの発展の為に、今後共、皆さまのご指導、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

330-A地区 ガバナー 岡野忠生

岡野ガバナー クラブ訪問の軌跡

全てのメンバーにメッセージを直接伝えたいとの熱い想いから全クラブ訪問を目標に掲げられ、上期128クラブ訪問を達成された岡野ガバナーの軌跡を時系列順にご紹介致します。

7月							8月						
1	7/18 少年少女囲碁大会	2	7/21 第2例会	3	7/22 第2例会	4	7/30 第2例会	5	8/2 ファリティーアクション	6	8/2 納涼祭	7	8/4 第1例会
東京みやこ							東京日本橋						
8	8/4 納涼例会	9	8/5 富士山クリーン作戦	10	8/6 第1例会	11	8/8 納涼例会	12	8/9 七夕祭	13	8/9 納涼例会	14	8/11 第1例会
東京隅田川							東京数寄屋橋						
15	8/12 第1例会	16	8/17 第1例会	17	8/18 納涼例会	18	8/20 京橋清掃	19	8/21 納涼美食例会	20	8/22 軟式野球表彰式	21	8/22 納涼例会
東京西新井							東京渋谷中央						
22	8/23 身障者ボーリング大会	23	8/26 納涼例会	24	8/27 納涼BBQ例会	25	8/28 納涼例会	26	9/1 第1例会	27	9/1 第1例会	28	9/2 「おはよう」声掛け
東京浜松町							東京文京						
29	9/2 第1例会	30	9/2 第1例会	31	9/3 第1例会	32	9/4 第1例会	33	9/6 聖フランシスコ子供奉仕活動	34	9/6 納涼例会	35	9/8 第1例会
東京浅草							東京田園調布						
36	9/9 献血	37	9/9 第1例会	38	9/11 第1例会	39	9/13 少年少女剣道大会、例会	40	9/17 第2例会	41	9/17 第2例会	42	9/18 あじさい植樹
東京巣鴨							東京中央						
43	9/19 甕井の頭池C	44	9/19 第1例会	45	9/21 第2例会	46	9/23 ロバに乗ろう	47	9/24 交通整理・第2例会	48	9/25 第2例会	49	9/26 ビコマラソン
東京吉祥寺							東京清瀬						
50	9/27 父母の会バザー、例会	51	9/27 少年野球大会閉会式	52	9/30 第2例会	53	10/1 七署少年柔剣道大会	54	10/1 第1例会	55	10/3 骨髓キャンペーン懇親会	56	10/4 身障者運動会
東京白鷗							東京秋葉原						
57	10/6 第1例会	58	10/6 第1例会	59	10/8 第1例会	60	10/8 第1例会(家族例会)	61	10/10 足立区民祭 献血	62	10/11 女神祭ワゴンセール	63	10/13 稲刈り
東京三田							東京五反田						
東京八王子いちよう							東京綾瀬						
東京							東京自由が丘						
東京							東京秋川						

64	10/13 第1例会	65	10/14 第1例会	66	10/15 第2例会	67	10/15 第2例会	68	10/17 薬物乱用防止C	69	10/18 ドナーファミリーの集い	70	10/20 第2例会
													
	東京田無		東京池袋		東京四谷		東京町田中央		東京ウエスト		東京麻布		東京日野かしの木
71	10/21 第2例会	72	10/24 盲導犬育成募金活動	73	10/24 CN50th	74	10/24 CN5th	75	10/25 朝陽学園バザー・例会	76	10/25 稲城祭	77	10/27 第2例会
													
	東京早稲田		東京神宮前		東京関東		東京フューチャー		東京三鷹		稲城		東京江東
78	10/28 第2例会	79	10/31 CN40th	11月	11/1 渋谷フェスタ 薬物防止C	81	11/2 第1例会	82	11/4 第1例会	83	11/4 第1例会	84	11/7 献血
													
	東京本所		東京番町		東京代々木		町田グリーン		東京桜門		東京城東		東京山手
85	11/7 障害者カラオケ大会	86	11/8 芋掘り・芋煮懇親会	87	11/10 第1例会	88	11/10 献血	89	11/10 第1例会	90	11/11 献血節約例会	91	11/11 第1例会
													
	東京上野東		東京石泉		東京大森		東京馬場先門		東京飯田橋		東京江東南		東京セントポール
92	11/12 第1例会	93	11/13 CN45th	94	11/14 ピオトーブメンテ	95	11/14 視覚障害者音楽教室	96	11/16 第2例会	97	11/17 第2例会	98	11/17 CN45th
													
	東京蒲田		東京町田		東京世田谷		東京愛宕山		東京高井戸		東京丸の内		東京板橋西
99	11/18 第2例会	100	11/18 第2例会	101	11/24 第2例会	102	11/25 第2例会	103	11/28 忍岡中学校弁論大会	104	12/2 第1例会	105	12/2 第1例会
													
	東京青山		国分寺		東京横田		東京シティ		東京上野		東京烏越		東京城北
106	12/3 第1例会	107	12/3 CN45th	108	12/4 第1例会	109	12/5 少年サッカー開会式・例会	110	12/5 43th X'mas	111	12/6 第1例会	112	12/6 X'mas例会
													
	東京北		東京羽田		東京千代田		東京羽村		東京深川		東京駿河台		東京江戸川中央
113	12/7 第1例会	114	12/8 第1例会	115	12/9 第1例会	116	12/10 第1例会	117	12/10 第1例会	118	12/11 45th Anniversary	119	12/14 X'mas家族例会
													
	東京不忍		東京品川		東京飛翔		東京墨東		東京武蔵野		東京虎ノ門		東京GAIA
120	12/16 X'mas家族例会	121	12/17 X'mas家族例会	122	12/17 忘年家族例会	123	12/18 CN30th	124	12/20 忘年家族X'mas例会	125	12/21 忘年例会	126	12/22 献血
													
	東京新宿東		東京芝浦		東京人形町		東京豊新		東京上野南		東京ウイング		武蔵村山
127	12/22 X'mas家族例会	128	12/24 忘年例会										
													
	東京荒川西		東京志村										

下期は72クラブを訪問させて頂く予定ですので、宜しくお願い申し上げます。
尚、キャビネットに投稿頂いたクラブアクティビティ・チャーターナイト・周年行事は330-A地区ホームページでも閲覧できます。

特集インタビュー 山浦国際理事候補者に聞く

（広報委員会） 「まず、今回のOSEALフォーラムにおいて、東洋・東南アジア地域の国際理事候補者として正式に選出されましたが、現在のお気持ちをお聞かせください。」

（山浦候補者） 「日本の8複合地区が主催するOSEALでのジャパンレセプションに国際会長やLCIF理事長（前国際会長）、さらに第一国際副会長、第二国際副会長の他、OSEAL実行委員長までもがいっせいに駆けつけて下さり、励まして下さいました。大変ありがたく思っています。また、日本の国際理事を初め、応援頂いた多くのメンバーの皆さんにも心から感謝しています。」

（広報委員会） 「今回は、日本の8複合地区を代表する国際理事候補者としてフォーラムに参加されたわけですが、ここまで来るにも大変長い道のりがあったと思いますが…。」

（山浦候補者） 「そうですね。国際理事に立候補しようと決意してから、まずは330-A地区では、年次大会で選挙にて審判を受けることになり、さらに複合地区大会、そして日本全体の330-337までの8複合地区でも承認を受け、今回のOSEALフォーラム参加となったわけですが、思い起こせば37歳のとき、先輩に誘われライオンズクラブに入った頃は、仕事が忙しくてクラブの幹事を引き受けることさえ断っていました。また、クラブにはたくさん立派な先輩がいらっしゃいましたので、今日、私がこのように国際理事候補者として地区の皆様や全日本の皆さんから応援して頂く事になるうとは夢にも思っておりませんでした。」

（広報委員会） 「CSFIIのナショナルコーディネーターとしての活躍ぶりや地区ガバナーの時、さらにはクラブ会長の頃も大変積極的に奉仕活動に取り組まれましたが、特に障害者や目の不自由な方に対する思いがありますか？」

（山浦候補者） 「私がクラブ会長を務めた際は“友愛で心に残る月例奉仕”をスローガンに毎月クラブ全体で奉仕活動を致しました。毎月でしたから様々な奉仕活動を致しました。また、地区ガバナーの時にも多数の地区メンバーの皆様のご協力により大勢の障害のある方々をテーマパークにお連れして楽しんで頂きました。従いまして、特に目の不自由な方に目を向けている訳ではありませんが、ヘレンケラー女史の「ライオンズよ盲人の騎士たれ」という言葉を強く心に感じ、目に障害のある方々への奉仕活動を実践してきました。私の祖母も晩年光を失ったことなどから天命のような不思議なめぐりあわせを感じます。」

（広報委員会） 「ジャパンレセプションでは“国際理事になったら、日本のすべてのメンバーの意見を国際協会の運営に反映させるべく努力したい”とのメッセージがあったように思いますが…。」



（山浦候補者） 「私は本心からそうように考えています。もちろんすべてのメンバーの意見を反映させるのは大変なことです。可能な限り努力したいと思います。一人一人のご意見はクラブの単位の意見としてひとつにまとめていただく必要がありますが、基本は一人一人のメンバーで国際協会も組織されているのですから皆様の意見を大切にしたいと思っています。それには、インターネットなどITを駆使した双方向のコミュニケーションを図りたいと思います。国際協会の動きや国際会議での議題、話題などをすばやく日本のメンバーにお届けし、メンバーからは様々なご意見を投稿して頂こうと考えています。また、OSEAL地域の中でも韓国はメンバーが急増しており、さらに香港からは中国本土に広がりを見せており、ややもすると世界の目が日本以外のアジアの国々に向いています。日本のライオンズの在り方や今後の方向性について大いに皆様と話し合っていきたいと考えております。」

（広報委員会） 「最後に、いよいよこの次はシドニーの国際大会で代議員の投票による最後の審判を受けるわけですが、地区のメンバーに対するメッセージがありますか？」

（山浦候補者） 「本当に今までのご支援に心より感謝しています。今年のシドニーの国際大会には多くのメンバーの皆様にご参加頂き、代議員の方はもちろんのこと、ご参加いただくメンバーにて日本のライオンズのパワーを世界に知らしめ日本ライオンズのメンバーである事に誇りと自信を持って最高のパフォーマンスを披露し、一人一人のメンバー各位が世界の組織の一員である事を確認し、世界大会を大いにエンジョイして頂きたいと思います。私も力いっぱい頑張りたいと思いますので今後共ご支援、ご協力をどうか宜しくお願い致します。」



The 48th OSEAL FORUM

Pattaya, Thailand November 19-22, 2009
第48回 OSEAL (東洋・東南アジア) フォーラム



⑧



⑤



⑨



⑥



⑦



①



②



③



④

海外メンバーとの貴重な交流の場

OSEALフォーラムには東洋東南アジア地域をはじめとして各国のライオンズクラブメンバーがたくさん集まります。従って、海外メンバーと交流する絶好の機会ともなります。

開会式の会場となったロイヤルクリフ・ビーチリゾートホテルでは「タイフード・フェスティバル」が開催され、参加登録者は無料クーポンを使ってタイの伝統料理や飲み物を楽しめるのですが、各国のメンバーらはそれらに舌鼓を打つと共に、メンバー同士の交流が行われます。

外国人メンバーとの話題は「メンバーは何人?」「どのようなアクティビティを行っているのか?」「例会の内容は?」「メンバーの年齢層は?」等々、お互いに興味津々な質問が飛び交います。

こうした国際交流の場で得る情報はとても参考になり、同時に自クラブの活動等にも大きな刺激ともなりますし、フォーラムに参加されなかったメンバーへの良い「土産話」となるでしょう。

因みに参加人数が多いため接する機会も度々となるフィリピン、タイ、台湾、香港、韓国のメンバーらが積極的に会話に応じてくれる印象です。

但し言語は英語が一般的ですので、もちろん英語が話せれば楽しさも増します。当日も日本人メンバーがフィリピン、タイのメンバーらとあちこちで話題に花を咲かせていました。

外国人メンバーは法被や団扇等の日本文化を感じられる物に興味を示す場合が多く、日本のメンバーにカメラを向けると次々に台湾のメンバーやフィリピンのメンバーが飛び入り参加する光景も見られ、それぞれ、陽気の良いパタヤにて楽しいひと時を過ごしていました。

また、開会式会場入口付近などでは各国のメンバーが盛んにピンバッチの交換を呼びかけ、それぞれの出会いを楽しんでおり、ここでも日本のメンバーが持つ団扇が人気を呼んでいました。

フィリピンのOBANDO LCとGreaterZambales LCのメンバーらと食事を楽しむ日本のメンバー



「Reflection」について語るカジット・ハバナナダ元国際会長

フォーラムテーマ「Reflection」セミナー

カジット・ハバナナダ元国際会長による、今回のフォーラムテーマ「Reflection」を主題としたセミナーが開催されました。

ハバナナダ元国際会長は、ライオンズクラブの会員増強や更なる発展の為に、組織並びにメンバーの質(クオリティ)を向上させることが急務であり、そのためには現状とこれまでの軌跡を改めて検証する必要があると強調されました。

その上で、「Reflection」とは「鏡」であり、自分自身は何を見ているのか? 人生の目標に向かっているのか? そもそも、自分の価値とは何なのか? 等々、多面的に自分を振り返り、深く分析するために設定されたテーマであると述べられました。

そして、検証の為に有用な手法としてStrength(強み)、Weakness(弱み)、Opportunity(機会)、Threat(脅威)の4つの頭文字を取ったSWOT分析(組織のビジョンや戦略を企画立案する際に利用する現状を分析する手法)というマーケティング分析手法を紹介されました。

ハバナナダ元国際会長は、ライオンズの強みは奉仕のもとで有意義な国際プログラムで繋がった全世界に広がる組織であり、誰もが国際会長になれる平等な組織体制。弱みは、組織が巨大化し全体の運営が円滑ではない、メンバーの真剣さの欠如、国際的組織にも関わらず、国境を越えた交流やクラブ間の協力に乏しい事、活動を外部宣伝する能力の弱さも指摘されました。

機会は、ライオンズクラブに会員を招待する機会、アクティビティの機会、交流の機会、リーダーシップを高める機会等様々な機会が用意されていて、私たちに与えられた脅威とはメンバーの退会や組織の質の低下ではないかと分析されました。

結びとして、ハバナナダ元国際会長はセミナー参加者に向けて、まずは自分自身のSWOT分析を行った上で、自クラブの理事会に於いてクラブのSWOT分析を実行するように強く要請されました。

そして、その検証結果をメンバー全員が共有し、今後の行動指針とする行為こそが「Reflection」なのだと締めくくられました。

第48回OSEAL(東洋・東南アジア・ライオンズ)フォーラムが11月19日より22日の間、タイ・パタヤで開催された。登録者総数6085人のうち、日本からの参加者は2238人だったが、今回のフォーラムに於いて東京新宿ライオンズクラブ所属L山浦晟暉がOSEAL地域の国際理事候補者として正式に選出されることもあり、330-A地区より多数のメンバーが参加した。

中でも、19日に開催されたコーカスミーティングでは座席の約3分の1を330-A地区のメンバーが占め、山浦国際理事候補者の英語でのスピーチに力強いエールを贈った。翌20日の開会式では約6000名の参加者が見守る中、華やかなタイの民族舞踊に始まり、ヴィルフス国際会長からは今こそライオンズクラブのアイデンティティを見直す時であるとのメッセージがあった。

開会式直後に催されたジャパンレセプションでは国際会長始め、各国のメンバー約1000名が参集して盛大な交流の場となった。また、「岡野忠生ガバナー夫妻を囲む会」では、岡野ガバナーより地区運営への情熱とメンバーに感謝の意が表明された。今回のOSEALはREFLECTIONをテーマとして様々なプログラムが4日間に凝縮された有意義なフォーラムとなった。



Interview

ライオンズクラブ国際協会330-A地区 環境委員会委員長 L風間 昭 環境への取り組みを語る

(広報委員会) 「まずはじめに、長年環境問題に取り組まれ、この課題に対して地区のリーダーシップを発揮してこられた委員長にお聞きします。いろいろご苦労があったと思いますが…成果のほうはいかがでしょう？」

(風間委員長) 「私は、たまたま連続して地区での環境問題に取り組む立場を仰せつかっていますが、330-A地区からの提唱で“環境憲章”が日本の8複合地区で承認されました」

(広報委員会) 「8複合ということは、全国のライオンズクラブが共通の目標を定めたということですね」

(風間委員長) 「そうです。実現に5年掛かりました。最初は5年前の第51回330-A地区年次大会において“環境憲章”および“地区環境問題アクティビティプログラム3ヵ年計画”が承認され、その後の第53回330-A地区年次大会において“環境憲章”の一部を訂正し“環境問題アクティビティプログラムを5ヵ年計画に訂正し、決議承認され、さらに、前期の最終キャビネット会議に於いて次期キャビネット引継ぎ事項として“地球環境保全・温暖化防止アクティビティについて、長期継続重点事業とする”が承認されました。」

(広報委員会) 「各複合地区での承認はいつですか？」

(風間委員長) 「第54・55回複合地区年次大会で330, 331, 332, 333, 334, 335, 337の各複合地区で承認された後、2007-08年度議長連絡会議に於いて330複合地区より提案された“環境憲章”が決議採択され、336複合地区では地区に周知されました。そして、2008-09年度複合地区会則委員長連絡会議に於いて、“環境憲章”をライオンズ必携に掲載することが了承されました」

(広報委員会) 「“環境憲章”の内容は各地区ともまったく同じなのですか？」

(風間委員長) 「330-A地区の内容と、各複合地区の内容とは若干表現が異なりますが、いずれも地区内の各クラブやメンバーが手をつなぎ環境保全活動を推進することを宣言したものです」

(広報委員会) 「330-A地区役員の名刺の裏に書かれている文章がそうなのですね？」

(風間委員長) 「その通りです。330-A地区の役員、ならびに330複合地区役員の名刺には、すべてこの“環境憲章”が表記されています。また、08年～09年度の複合地区会則委員長連絡会議の了承を得て“複合地区環境憲章”がライオンズ必携に掲載されています」

(広報委員会) 「こうしてお話をお聞きしますと、各地区が共通の目標を定めるということは大変なことですね。ところで地区内のクラブやメンバーは具体的にどのようなことを心がけたらよいのでしょうか？」



ライオンズクラブ国際協会330-A地区 環境憲章

ライオンズクラブ国際協会330-A地区は
我々の子孫へ未来を継続するため、
ライオンズの奉仕の精神に則り、
各クラブメンバーが手をつなぎ、
地球環境保全活動を推進する。



ライオンズクラブ国際協会330-337複合地区 環境憲章

ライオンズクラブ国際協会330-337複合地区は
我々の子孫への健全な未来を継続するよう、
ライオンズクラブの奉仕の方針に則り、
各地区、各クラブ、手をつなぎ、地球温暖化防止の為
環境保全活動を推進するものとする。

(風間委員長) 「環境憲章とは、どのような事をするのかを具体的に定めたものではありませんが、地区内のクラブやメンバーが“地球の環境保全に役立つ”という意識を持って、ほんの小さなことでも、気がいたら先ず実践するということと呼びかけたいのです。そして、330-A地区内ではさまざまな環境関連のアクティビティが行われていますが、環境委員会としては、そのような有意義な取り組みを伝えていきたいと考えていますので広報委員会も協力してください」

(広報委員会) 「もちろんご協力します。地区ホームページで環境保全への取り組みを紹介するなど考えられますので、持ち帰って広報委員会で相談します。ところで、330-A地区ではモットーのようなものがあるのでしょうか？」

(風間委員長) 「あります。330-A地区環境テーマとしては「森の都 東京に」「森の国 日本へ」そして、“山”“川”“海”をキーワードに掲げています。また、“21世紀ライオンズクラブメンバーは地球を救う騎士になれ”と呼びかけています」

(広報委員会) 「いいですね、日本の首都、東京は緑が多く、環境保全のモデル都市になれるとも聞きますし、ライオンズクラブメンバーに地球を救おうと呼びかけるスケールの大きさが爽快に感じます」

(風間委員長) 「そうですよ！330-A地区で上げた“環境憲章”というのろしに全国の複合地区が共鳴し、日本中のライオンズクラブメンバーが声をそろえて環境活動を展開すれば、大きな反響を呼ぶことでしょう。そして、さらに世界中にその声を広めていく。奉仕活動の原点であるほんの小さな心がけが、やがて地球を救う大きなエネルギーとなるはずですよ。そのような思いで活動を続けています」

(広報委員会) 「330-A地区から声を挙げたのですから、先頭を切って何か実践しなければなりませんよね。地区での活動について何かお考えがごありですか？」

(風間委員長) 「そうですね、地区全体での取り組みを検討しています。効果が期待できるのは各クラブやメンバーがエネルギー消費を減らし、エコロジーを意識したライフスタイルに慣れて頂くことです。たとえば、エコカーに乗り替えるとか、近距離の移動は自転車を使うとか、買い物にはマイバックを持参するとか、誰にでも無理なく続けられるような共通の目標を検討しています。また、クラブ単位で実施しているアクティビティを地区内の多くのメンバーに知っていただく機会を増やすための情報交換の場を増やしたいと考えています」

(広報委員会) 「ライオンズクラブに相応しい共通の目標ができるといいですね。そのためにはメンバーが情報共有し、活発な意見交換ができるシステムの構築が望まれます」

(風間委員長) 「地区内メンバーへの広報活動、情報交換活動がとても大切ですね。まずは地区で承認された“環境憲章”がしっかりと地区内のメンバーに認識されなければなりません。そのためには広報委員会の協力が必要です」

(広報委員会) 「しっかりと承りご協力したいと存じます。本日はお忙しい中お時間を頂きましてありがとうございました」

環境リーダー養成講座のお知らせ

3月23日(火曜日)国立オリンピック記念青少年総合センターに於いて、世界的建築家であり、積極的な環境活動家としても有名な安藤忠雄氏をお招きして環境セミナーを開催致しますので、メンバーの皆様にご参加を願います。お誘い合わせの上、多数のご参加をお願い申し上げます。

2009 クラブ アクティビティ

原宿LC、神宮前LC 10月24日 盲導犬育成協力街頭募金活動

原宿LCは神宮前LCと合同で原宿駅・表参道の周辺6カ所で「盲導犬育成協力街頭募金活動」を実施しました。

土曜で賑う街頭ではファッションブルな若者や家族連れの皆様から多くの募金を頂くことが出来ました。尚、募金はアクティビティ終了後の2クラブ合同例会で財団法人日本盲導犬協会へ全額寄贈させて頂きました。



昭島LC 11月7日 献血奉仕活動

『第1回献血奉仕活動』を11月7日(土)に実施いたしました。

東京昭島ライオンズクラブに於ける、献血奉仕活動の位置付けとしては、他クラブ同様奉仕活動の中でも最も重点を置いている活動の一つです。そして、その献血奉仕活動は年3回昭島北口駅前で行っており、最近では益々人の往来が多くなり献血には良い立地条件の下実行されております。

今まさに世界では『新型インフルエンザ』の早期対応を求められている環境の中、これからの献血活動に於いても、多くの悪状況を想定しなくてはならない時代が来たような気がした今回の献血奉仕活動でした。



代々木LC、恵比寿LC、新都心LC 10月31日、11月1日 「しぶやフェスタ」麻薬撲滅運動



「しぶやフェスタ」麻薬撲滅運動(於:渋谷区代々木公園)に代々木LC、恵比寿LC、新都心LCが「麻薬撲滅運動」をそれぞれ分かれて呼びかけました。

代々木LCはテントにてチャリティーバザー、恵比寿LCはインフルエンザ予防のマスクも配布、

新都心LCは麻薬撲滅パンフレットや頒布品をそれぞれ3000部～1万部配布して来場者に喜ばれていました。

また、11月1日には岡野ガバナーが応援に駆けつけました。



砧LC 11月1日 親子ふれあい祭りを開催

青島特別支援学校久我山分校にて親子ふれあい祭りを開催しました。

毎年継続事業としているこの行事を通じ、生徒・父兄・教員・地域の方々が交流する場となっています。

メンバー手作りの料理を配布して、岡野ガバナーも餅つきに参加頂きました。



シティLC 11月25日 薬物依存症リハビリ施設 日本ダルクトゥデイハウスとその家族会を支援

継続アクティビティとして薬物依存症リハビリ施設である日本ダルクトゥデイハウスとその家族会を支援しています。

施設の入所者に例会でスピーチして頂き、人前で自分の体験を語ることによって自らを顧みる、決意を新たにする、薬物の恐ろしさを伝える一助になることと信じています。

写真は11月25日例会の様子！



↑片岡会長から施設へ支援金の贈呈

←リハビリプログラムの一環として取り組んでいるエイサー踊り

駒込LC 10月24日・10月25日 根津・千駄木下町まつりへの後援及び参加 根津神社



ケナフの紙漉でハガキを作ってもらい地球環境問題をアピールしました。

また、クリーンキャンペーンで地域の清掃に参加。芸大生による似顔絵チャリティー募金も実施しました。



虎ノ門LC、江戸川LC、スバルLC、新宿北LC、上野南LC 11月1日 ビックサイトのコミックシティーで盲導犬募金



ビックサイトで開催された「コミックシティー」には、コミック好きな若者たち6万人が入場し、熱気に包まれました。

その会場内で、虎ノ門、江戸川、スバル、新宿北、上野南LCのメンバー30名が「盲導犬募金」を行いました。

若者たちのひっきりなしの献金に募金箱が重くて持てないほど。なんと一日で、1,205,000円の募金が集まりました。

若い人の温かい心に大感動しました。



志村LC 11月7日 「マハヤナ学園撫子園」 豊島園遊園地にご招待

東京都板橋区にある児童養護施設、社会福祉法人「マハヤナ学園撫子園」の児童34名、先生12名をバスで豊島園遊園地にご招待し、お昼はバーベキューをしました。参加した子供たちは皆一同に大喜びで楽しい1日を過ごすことができました。



桑都LC 11月21日 いちよう祭り「北海道を食べよう！」 をテーマに模擬店を出店

第30回いちよう祭りが開催されました。東京桑都ライオンズクラブでは「北海道を食べよう！」をテーマに模擬店をしました。売上げは全て事業資金となります。

- ◆「帰ってきたきれいな浅川」アクティビティ
- ◆LCIF事業資金
- ◆その他



板橋LC、板橋西LC、志村LC、けやきLC 11月15日 献血奉仕活動



板橋農業祭りに参加し、赤塚小学校校庭では献血活動を行いました。

第7R第2Zの4クラブ(板橋LC、板橋西LC、志村LC、けやきLC)合同で終日、献血活動を行いました。



稲城LC 10月14日 献血奉仕活動

稲城市向陽台広場にて通行者に献血の協力を呼びかけました。



10月24日・10月25日 稲城市民祭り参加・ひまわりの種600袋配布と写真展

稲城市長峰稲城中央公園に於いて、稲城市民祭りへの参加(ライオンズ奉仕デー振替)・姉妹都市である女満別のひまわりの種600袋をガールスカウトと共に市民に配布しました。



昨年度配布した種で咲かせたひまわりの花の写真展を開きました。

江戸川東LC 11月24日 映画「ゆずり葉」チャリティ上映会

18:30より、全日本ろうあ連盟制作の「ゆずり葉」という映画のチャリティ上映会を開催しました。

来場者数は約600名。の中には視覚障害者約50名、ろう者(聴覚障害者)50名が招待されました。今回の上映会は音声解説付きの上映会です。視覚障害者にも楽しんで頂けるようになっておりました。来場した視覚障害者の方々は、音声解説を聞くためのFM受信機を返却の際に、「とても楽しかったありがとう」と言って下さいました。

映画本編が終わっても殆どの人が帰らない。きっと涙を隠すためにしばらく立てなかったのだと思います。募金総額も440,164円集まりました。協力して下さいた他クラブのみなさんありがとうございました。



ウィルLC 11月5日 視覚障害者とゴルフコンペ

場所 茨城口イoyalゴルフ倶楽部
会費 15,000円
(チャリティコンペの金額では破格です)

健全者と視覚障害者が一緒にプレーを楽しむ相互理解を深めました。

視覚障害者の方々は怪我、病気、自己等々で人生半ばで視覚をなくされた方々が多く、夢と勇気を持ってプレーを楽しむようになるまでは大変な葛藤と努力の結果です。



11月14日
ピオトープメンテナンス

当クラブ3大行事の「ピオトープメンテナンス」を池尻小学校にて実施しました。当日はあいにくの天候でしたので、荒木田を盛るといふ当初の予定を変更してピオトープに生えすぎている草を一部取り除くという行程で行われました。クラブメンバー7名が参加し、さらに330-A地区ガバナー岡野忠生、330-A地区10R2Z・ZC L藤村貞夫にもお越し頂き、除草作業を一緒にして頂いたほか、三宿中学校のピオトープにつきましても、ご視察頂きました！
お忙しい中、誠に有難うございました。



11月20日
グリーンプロジェクト「未来の食卓」上映会

新規アクティビティグリーンプロジェクトとして「未来の食卓」上映会を青山ウィメンズプラザにて実施しました。当クラブメンバー8名の他、10R2Z・ZC L藤村貞夫、ほかゲスト1名、メンバーの家族2名が参加しました。「未来の食卓」とは農薬と化学肥料の危険性を考えて、村の学校給食をすべてオーガニックにしたという実話に基づいたフランスのドキュメンタリー映画です。参加者からは早速家庭の食事もオーガニックにしたという報告もありました。今後も上映会を実施して啓発を行っていくことを計画しています。



11月29日
障害者支援事業「わんぱく秋祭り協力」

障害者支援のひとつとして、知的障害者の居場所を作る活動を補助金無しに行っている「わんぱくクラブ育成会」の主催する「わんぱくクラブ秋まつり協力」を三軒茶屋ふれあい広場にて実施しました！「わんぱく秋まつり」は、ステージ上で歌手・パフォーマーによる演目があるほか、知的障害者たちによるダンスと歌の発表もあり、さらに、チャリティーバザーや模擬店などさまざまなコーナーが設置されている大きな祭りでした。



JR小岩駅北口において、献血活動を行いました。秋晴れの晴天に恵まれ、献血申込受付者数は96名になり、200ml献血者14名、400ml献血者58



名の合計72名もの皆様に献血を頂きました。当日は、元会長のL森本の御息に多大な御協力を頂きました。

江戸川東LC 12月17日
福祉作業所へクリスマスケーキの配布



東京江戸川東LCでは、江戸川区内の福祉作業所へクリスマスケーキの配布を行っております。今年も12月17日に実施されましたが、9年目ともなりますとみんな楽しみに待っております。全部で14作業所に合計407個のショートケーキをメンバーで手分けして配りました。



東京田園調布LC 12月22日
警視庁玉川警察署へピーポくんのぬいぐるみの購入支援



東京田園調布ライオンズクラブでは今期のアクティビティとして、警視庁玉川警察署へピーポくんのぬいぐるみの購入支援をしました。写真は12月22日開催のクリスマス家族例会に登場して子供たちの人気をさらったピーポくんの様子です。今後、玉川署の交通安全運動、また防犯意識啓蒙の活動など様々な地域のイベントに登場して活躍することでしょう。また、当クラブでは毎年の継続アクティビティとして児童養護施設「聖フランシスコ子供寮」の子供たちを招いてクリスマスプレゼントをおくり、家族的な雰囲気の中を楽しんでもらっています。



三軒茶屋LC 12月10日
献血会・骨髄移植ドナー登録会奉仕活動

クラブのメインアクティビティである献血・骨髄移植ドナー登録会活動、日本赤十字社より社賛功労感謝状も頂きました。今年度も既に14回実施し、12月にも4回開催致しました。



番町LC 12月14日
心臓障害幼児「こぐま園」クリスマス訪問

心臓に障害を持つ幼児さんの為の「こぐま園」にサンタクロースが訪問しました。心臓障害の子を持つ母親の心痛はいかばかりか。親の心配は子の体調にも影響すると聞きます。



「こぐま園」での励ましあいの笑顔こそ、大安心の幼児たちなのだ。サンタさんを慕い、喜びあう子供たち、臉をほころばせる母親・・・。

番町LCは、もう26年間も、世間の目が届きにくいこの施設に善意の支援を続けています。



11月6日
献血奉仕活動

当クラブでは毎年春と夏の2回献血活動を行っております。この活動は20年以上にわたって実施してきました。今回は秋晴れの絶好の献血日和に恵まれ、メンバーの呼び込みも熱を帯びたものとなりました結果、献血申込者数、献血者数とも過去最高を記録いたしました。



12月6日
調布市社会福祉協議会主催の福祉バザー

毎年恒例の調布市社会福祉協議会主催の福祉バザーが12月6日(日)市役所前広場で開催され、当クラブも参加いたしました。本年で32回目を数え、約50の団体、延べ1万人が会場を訪れました。バザー用品が毎年減少しており、当クラブでは2年前からメンバーの一人が園芸店を営んでいることから、普通の寄付された用品類にプラスして、シクラメンの販売も行いました。シクラメンの販売は好調で、売り出し開始前から予約が相次ぎ、12時には完売！売り上げも過去最高を記録しそのほとんどが社会福祉協議会に寄付されました。



温かな好天に恵まれ、メンバー一同アクティビティを楽しみ、更なる友情を深める事ができました。

12月15日
国際交流家族例会を開催

国際交流家族例会を開催いたしました。地元の電気通信大学に在籍中の留学生を招待し、当クラブのメンバーおよびその家族との交流を目的としたもので、本年は12月15日(火)にクレストンホテルにて開催いたしました。留学生52名、総勢100名の参加者の中、21ヶ国の若者がスピーチ、アトラクション、パソコンなどの豪華賞品が当たるくじ引きで大変盛り上がりしました。本年はいたるところで話の輪ができ、従来にも増した充実した例会となりました。



地区役員・クラブ役員のための
ミニIT講座（第2回）

330-A地区広報委員会
toukou09@lions330-a.org

新しい月次報告システム

“eMMR”

(Electronic Monthly Membership Report)

すでにご存じの方も多いと思いますが、2010年3月分の月次報告より、新しいオンライン月次報告システムのスタートが予定され、現在そのシステム開始の準備作業が進められています。
現時点では具体的なスタートのスケジュールや機能などについては未確定の部分もありますが、各クラブの皆様には予備知識及び必要な準備事項について、ぜひ知っておいて頂きたいと思います。
(従来のサバンナの入力画面及び入力項目が基本になり、いくつかの項目が追加になります。)

1) 新システムの概要

330-A地区では2005年8月(7月分報告)よりサバンナを地区の会員情報管理システムとして正式にスタートして以来、約4年余り経過しましたが、今ではほとんどのクラブまた多くの地区役員の方々に使用されるようになっていきます。

全日本レベルで見ると日本に35ある準地区のうち、すでに29の準地区がサバンナを会員管理システムとして正式に採用しています。

従来はこのライオン誌及び地区キャビネットへの報告としてのサバンナとは別に国際本部への月次報告システム(WMMR)にも毎月入力することが必要でしたが、新システムでは従来のサバンナへの月次報告に国際本部への月次会員報告を統合(※)し、直接サバンナから国際本部とデータの送受信を行います。

これにより、毎月の会員報告についてはサバンナによる報告のみで完了し、WMMRへの会員情報入力是不要になる予定です。

但し、国際本部へのアクティビティ報告(A-1)については、その入力の方法を現在検討中です。

※従来のサバンナの会員動静にWMMR会員報告と同じ1バイト(英数)文字の入力欄が追加される予定です。

1バイト(英数)文字による会員情報の入力欄(予定)

2) 準備事項

① WMMRに登録済みの会員番号および家族会員情報が、サバンナで正確に登録されているかのチェック

② サバンナ月次報告が月末締切に変更

従来は翌月7日までが入力期限でしたが、国際本部への報告と期限を一致させるために2010年1月分報告より当月末に締切が変更されます。

③ “eMMR”移行に関して説明会の開催、及びキャビネット事務局においての質問受付体制を組織予定

1月下旬に各クラブ入力担当者向けに説明会を計3回開催いたします。また、2月より新システムに関するご質問に対応するための体制を準備しています。

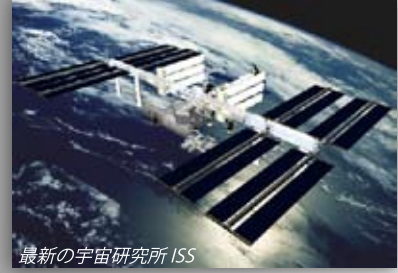
新しい年に向けて
Goes into 2010



シドニー 夜明け (2010年国際大会開催地)



2010年1月8日の野口宇宙飛行士



最新の宇宙研究所 ISS

地球は今、太陽惑星軌道を半周して(ライオンズクラブ暦)、激しく動いております。

今期、330-A地区ニュースもメンバーの皆様の力強いバックアップのもとで、昨年7月以来EXPRESS第1号、第2号を含めると早4冊目の発行になりました。

改めまして、心より感謝を申し上げます。

また、それら発行記事の中で、メンバーの皆様の一部誤解を招くような表現のありましたことお詫び申し上げます。

さて、天空では2009年12月21日午前6時52分(日本時間)バイコヌール基地より打ち上げられた宇宙研究所(ISS)に野口宇宙飛行士が滞在し、人類の明るい未来のためにミッションが現在進行中です。

一方、地球上では世界の多くのライオンズクラブメンバーも様々な地域で素晴らしい活躍をしています。

ライオンズクラブ国際協会330-A地区の最新の活動は、本号と共にホームページにも掲載されております。素敵なメンバーの皆様の躍動をお楽しみください。

広報委員会はこれからも、メンバーの皆様のご活躍とニュースを可能な限り数多く、そしていち早く掲載してまいります。

本年も宜しく願い申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区 広報委員会
委員長 L 近藤 正彦

